

ちいさな 建設

森越橋



アーチの美

東京都の西北部へと多摩川を遡るにつれ、奥多摩の山岳が深くなっていく。青梅街道（国道四二一号）とJR青梅線が並走し、首都圏から多くの人が登山やハイキングに訪れているエリアだ。青梅線の川井駅で降り、青梅街道を五〇〇メートルほど戻ると、「国道で一番短い橋」とされる「森越橋」が、山から多摩川へと下る水流の上に架かっている。

長さ三メートル、幅員七・五メートルのコンクリート橋で、架設は一九三八（昭和十三）年。短いながら欄干はシンプルなアーチを描き、すっきりモダンなデザインが目を引く。道路上からは見えないが、橋の下部構造も弧を描くアーチ橋である。本来ならばアーチ構造は不要なスパンだが、この地域は昔から景勝地であったため、景観に配慮して桁と欄干をアーチ形にしたという。コンクリートが自然の風景になじむ姿が印象的だ。

素材や規模にかかわらず、アーチ橋はじつに魅力的な風景を形づくってきた。小さな森越橋もそこに連なっている。もし近くを訪れることがあれば、ぜひ欄干の下も覗いてみてほしい。

アクセス JR青梅線川井駅から青梅街道を御嶽駅方面へ歩いて8分ほど